



日本ボレイト株式会社

豪雨災害が「例外ではない時代」 浸水住宅を「正しく復旧する技術」を施工者へ

～信州大学・中谷岳史助教と『浸水住宅復旧実践ウェビナー』を11月10日に無料開催～

施工者に求められる「被災してしまった住宅を、どう正しく復旧するのか」

日本ボレイト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅葉健介）は、2026年11月10日（火）、工務店・リフォーム会社等の住宅施工者を対象に、信州大学工学部 建築学科 助教の中谷岳史（なかや たかし）先生を講師に迎え、「施工者のための浸水住宅復旧実践ウェビナー」をオンラインで開催します。テーマは、「まず、乾かす。手当てはその後」。豪雨による浸水被害が各地で発生するなか、住宅業界には「水害を防ぐ」だけでなく、被災した住宅をどう正しく復旧するかという知識と技術も求められています。

強い大雨の発生頻度、1980年頃の「約2倍」に

気象庁の「日本の気候変動2025」では、日本国内で極端な大雨の発生頻度が増加していると報告されています※1。3時間降水量200mm以上の強い大雨の発生頻度は、1980年頃（1976～1985年）と比べ、最近10年間（2015～2024年）では約2倍に増加。同報告書では、地球温暖化がすでに大雨の頻度と強度の増加に影響していると評価されています。

豪雨災害への備えは、一部地域だけ

でなく、住宅・建築業界全体で考えるべき社会課題になっています。

※1【出典】気象庁「5-1. [観測結果] 日本国内の極端な大雨の発生頻度が増加している」より

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/2025/html_honpen/cc2025_honpen_5.html

要素	変化傾向	変化の倍率 （最初の10年間と最近10年間の比）
1時間降水量50mm以上	増加している	約1.5倍（約226回→約334回）
1時間降水量80mm以上	増加している	約1.7倍（約14回→約24回）
1時間降水量100mm以上	増加傾向が現れている	約1.8倍（約2.2回→約4.0回）
3時間降水量100mm以上	増加している	約1.6倍（約155回→約248回）
3時間降水量150mm以上	増加している	約1.8倍（約19回→約33回）
3時間降水量200mm以上	増加している	約2.0倍（約2.8回→約5.6回）
日降水量200mm以上	増加傾向が現れている	約1.5倍（約160日→約247日）
日降水量300mm以上	増加している	約1.9倍（約28日→約55日）
日降水量400mm以上	増加している	約2.1倍（約6.4日→約14日）

浸水住宅は「まず、乾かす。」

浸水住宅の復旧では、「搬出・清掃・乾燥が先。木部の手当ては、乾いてから」が基本です。十分に乾かないまま復旧を進めると、後からカビや腐朽が発生し、再工事につながる可能性があります。そのため施工者には、「何をするか」だけでなく、「どの順番で進めるか」「乾燥をどう判断するか」という知識が重要です。本ウェビナーでは、令和元年東日本台風（2019年台風第19号）による自宅の被災を機に、水害被災住宅の復旧に関する研究・技術支援に取り組む中谷岳史先生が、各地での復旧支援の経験をもとに、初動・清掃・乾燥、乾燥の判断、やってはいけない復旧など、施工現場で役立つポイントを解説します。

日本ボレイトからは代表取締役社長・浅葉健介が、乾燥後の木部のホウ酸処理について解説します。ホウ酸は無機ミネラルで、揮発しません。木材中に残り続ける限り、シロアリや腐朽菌などの生物劣化から木材を長く守ります。一方で水に溶けやすい性質があるため、浸水住宅では、まず清掃・乾燥を行い、その後木部を適切に処理することが重要です。また、日本ボレイトでは、水害被災住宅の復旧支援として「水害対応キット」を11月30日（月）まで無償提供しています※2。本ウェビナーとあわせ、豪雨災害が増える時代に必要な住宅復旧の知識と実践を支援します。

【開催概要】

主催：日本ボレイト株式会社

URL : <https://borate.jp>



TEL : 03-6659-5785 <https://borate.jp>

まず、乾かす。手当てはその後——




施工者のための浸水住宅復旧実践ウェビナー

浸水の住宅の復旧は「**撤出・清掃・乾燥**」が先、木部の手当ては**乾いてから**が基本です。順番を誤ると、後からカビや腐朽が出て再工事になることがあります。被災住宅の復旧手順を研究し、各地で現場を支援してきた中谷先生から、現場で役立つ知恵を学びます。日本ボレイトからは、乾燥後の木部の手当て(水ウレシ処理)と、無償提供中の水害対応キットをご案内します。

参加無料		講師紹介
日時 2026年 11月10日 火 15:00~17:30 会場 オンライン(Zoomウェブセミナー) 定員 100名(先着) 対象 工務店 / リフォーム会社 / 施工代理店 講師 中谷 岳史 先生 (信州大学工学部建築学科 助教) 内容 ■第1部 復旧の基本ー 初動・清掃・乾燥 / 中谷先生 ■第2部 「乾燥の判断」とやってはいけない復旧 / 中谷先生 ■第3部 乾かしあしたの木部の手当て / 浅葉 真樹 先生 (日本ボレイト株式会社 代表取締役部長)	中谷 氏 氏 氏 信州大学工学部建築学科 助教 中谷 岳史先生  信州大学工学部建築学科助教。専門に建築環境学。木材の付加価値向上を目指して研究開発。岐阜県立富山高等学校を経て、2017年に博士号取得。2019年度の第1回全国には、自主研製した乾燥機、水被害発生時の被害軽減に貢献。土木学会で発表された論文は、国土交通省「国土強靱化計画」の「国土強靱化技術」に掲載されている。2023年度は、国土交通省「国土強靱化計画」の「国土強靱化技術」に掲載されている。	
特典 水害対応チェックリスト(アンケートへお答えいただいた方) 申込 https://select-type.com/form?id=EyViubaddkM 申し込み締切：11月8日(日)	浅葉 健介  営業企画、設計業務、経営コンサルティングなど、建設メーカーを経て、日本ボレイトに入社。企業として、顧客に最適なソリューションを提供することを使命とし、プロジェクトマネージャー、マーケティング戦略、新規事業開発などに従事。現在、水害対策の専門家として、被災者への支援活動に従事している。	









日本に150年以上の歴史があり、水害復旧のスペシャリストとして知られる

日本ボレイト株式会社

<本部> 〒101-0031
東京都千代田区東国分2-6-2 カラピタビル
TEL : 03-6659-5785 <URL> <https://boireit.jp>

